

講習会開催案内

一般社団法人日本原子力学会標準委員会では、以下の標準に関する講習会を開催いたします。

「原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準:2015」 (2015年12月25日発行済)

日本原子力学会標準委員会では、地震 PRA に関する標準を改定し発行しております。地震 PRA(確率論的リスク評価)に関する実施基準の内容と関係事項を広く理解して頂くために、講習会を開催することになりました。2015年度の講習会は2016年2月2日～4日に開催しましたが、多くの方々に参加頂き、大変好評でした。そこで今年度も開催することといたしました。前回同様、標準策定に携わった者を中心とした講師陣が、規定内容を解説します。特に地震 PRA の具体的な評価例も紹介いたします。質疑の時間ももうけ、受講者の疑問に丁寧に答えたいと思いますので、是非、ご参加ください。

・開 催 日 : 2017年2月27日(月), 2月28日(火) (2日間)

・会 場 : 5東洋海事ビル B1階 A+B会議室

・参 加 費 :

[標準を購入する場合(講習会+標準のセット価格・割引付), 税込]

・正会員 54,000円

・非会員 75,600円

※学生会員及び学生非会員で申し込みの方は、別途連絡願います。

[標準を購入しない場合(講習会のみ価格), 税込]

・正会員 32,400円

・非会員 48,600円

※学生会員及び学生非会員で申し込みの方は、別途連絡願います。

標準「原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準:2015」

(2015年12月25日発行)(会員:29,700円, 非会員:37,125円(いずれも税込み))

※標準は、講習会当日にお渡しします。事前に入手を希望される方は申込書にその由記載下さい(送料1冊540円)

・プログラム:別紙1の通り(変更の可能性あり)

・申 込 方 法:別紙2の申込書に必要事項をご記入のうえ、**2月16日(木)まで**に下記宛先へお申し込み下さい。

お申し込み・問い合わせ先

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会事務局
〒105-0004 港区新橋2-3-7 新橋第二中ビル3F
Tel 03-3508-1263 Fax 03-3581-6128
Email sc@aesj.or.jp

地震 PRA 標準 2015 講習会プログラム (案)

日 時 : 2017 年 2 月 27 日(月) 10:00~17:00, 2 月 28 日(火) 09:00~17:00

場 所 : 5 東洋海事ビル A+B 会議室

議事進行 : 標準委員会 外的事象 PRA 分科会 地震 PRA 作業会幹事 成宮祥介 (関西電力)

1 日目 : 2 月 27 日 (月)		
時間	内容	講師
10:00~10:05	開会挨拶	平野光将 (電中研) 5 分
10:05~10:50	I : 地震リスク評価の目的, 経緯と地震 PRA 実施基準改定の要点	平野光将 (電中研) 45 分
10:50~11:40	II : サイト・プラント情報の収集・分析と事故シナリオの概括的分析	岩谷泰広 (中部電力) 50 分
11:40~12:00	質疑応答 (全体, 情報収集, 事故シナリオ)	講師陣 20 分
12:00~13:00	昼食休憩	
13:00~14:30	III-1 : 地震ハザード評価の手順と主な特徴 III-1-1 : 地震ハザード評価の経緯と主な改定点 III-1-2 : 地震ハザード評価の手順と概要	蛭澤勝三 (電中研) 30 分 蛭澤勝三 (電中研) 60 分
14:30~14:45	休憩	
14:45~15:50	III-2 : 地震ハザード評価 (評価例を含む)	堤英明 (電中研) 65 分
15:50~16:00	III-3 : 断層変位ハザードの扱い	蛭澤勝三 (電中研) 10 分
16:00~17:00	質疑応答 (ハザード評価)	ハザード講師陣 60 分
2 日目 : 2 月 28 日 (火)		
09:00~09:15	IV-1 : 建屋・機器フラジリティ評価の総論と全体の流れ	山口彰 (東京大学) 15 分
09:15~09:45	IV-2 : フラジリティ評価の考え方	美原義徳 (鹿島建設) 30 分
09:45~10:30	IV-3 : 建屋のフラジリティ評価 (評価例含む)	吉田伸一 (大林組) 45 分
10:30~10:35	休憩	
10:35~11:20	IV-4 : 機器のフラジリティ評価 (評価例含む)	樋口智一 (東芝) 45 分
11:20~11:50	IV-5 : 地盤と屋外土木構造物のフラジリティ評価 (評価例含む)	大鳥靖樹 (電中研) 30 分
11:50~12:05	IV-6 : 免震設備のフラジリティ評価	大鳥靖樹 (電中研) 15 分
12:05~12:45	質疑応答 (フラジリティ評価)	フラジリティ講師陣 40 分
12:45~13:45	昼食休憩	
13:45~14:00	V-1 : 事故シーケンス評価の流れ	村松健 (東京都市大) 15 分
14:00~14:40	V-2 : 起因事象の設定 V-3 : 事故シーケンスのモデル化 V-4 : システムのモデル化	黒岩克也 (MHI-NS エン) 40 分
14:40~14:45	休憩	
14:45~15:15	V-5 : 事故シーケンスの定量化 V-6 : 格納容器機能喪失シナリオの分析	田中豪 (東芝) 30 分
15:15~15:40	V-7 : 事故シーケンス評価の評価例	岩谷泰広 (中部電力) 25 分

15:40~16:15	質疑応答（事故シーケンス評価）	事故シーケンス講師陣 35分
16:15~16:45	閉会挨拶，修了証配布	平野光将（電中研）30分
16:45~17:00	アンケート記入	15分

開催場所のご案内

■場所：5 東洋海事ビル A+B 会議室

(<http://www.relo-kaigi.jp/conference/minatoku/shinbashi-area.html#tab2>)

■住所：東京都港区新橋 3-2-5 地下1階

■地図：



■交通：JR線新橋駅 烏森口より徒歩7分

都営三田線内幸町駅 A3 出口より徒歩5分

講習会申込書

日本原子力学会 標準課宛

申込日	
-----	--

下記の通り、日本原子力学会の講習会への参加、標準の購入を申し込みます。

○**申込締め切り日: 2017年2月16日(木)**

○標準「原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準: 2015」(2015年12月25日発行)(会員: 29,700円, 非会員: 37,125円(いずれも税込み))を申込頂いた場合は、講習会当日にお渡しします。**事前に入手を希望される方は申込書の備考にその由記載下さい(送料 540円)。**

○**講習会当日は標準を販売しませんので、ご了承ください。**

講習会開催日: 2017年2月27日(月), 2月28日(火)

(ふりがな) 参加者氏名 & (E-mailアドレス)	所属	種別 (<input type="checkbox"/> をチェック(<input checked="" type="checkbox"/>)にして下さい)	以下のどちらかを選んで下さい(<input type="checkbox"/> を付けてください)	
			参加費 (標準込み)	参加費 (標準不要)
		<input type="checkbox"/> 正会員	54,000円	32,400円
		<input type="checkbox"/> 非会員	75,600円	48,600円

※学生会員及び学生非会員で申し込みの方は、別途連絡願います。

※会員には賛助会員を含みません。参加費は全て税込みです。1日のみの参加費の設定はありませんので、ご了承ください。

連絡先等 (請求書送付先)

請求書宛名	
氏名	
会社名・所属	
送付先住所	(〒 -)
E-mailアドレス	
電話	
会員番号(受付番号)	
備考	

注: 必要事項をご記入いただければ、別フォーマットでお申し込みいただいても結構です。

(原子力学会への入会のお勧め)

平成28年度下半期入会(10月以降の入会)の初年度会費は、正会員5,000円、学生会員2,500円です。入会金は、正会員2,000円、学生会員無料です。

講習会に参加される方で会員でない方は、この機会にぜひご入会下さい。

詳細は、http://www.aesj.net/join_membership/member_join_id